



# のうえん すくすく農園だより

れいわ ねんど ねんど  
令和2年度(2020年度)

とよなか しりつみの わしょうがっこう  
豊中市立箕輪小学校

ふじもと たかぎ  
藤本・高木 NO. 13

## ねんせい だっこく 5年生 脱穀

11月9日(月)の1・2時間目に、5年生がすくすく農園で脱穀をしました。脱穀とは、乾燥させた稲から  
もみ いね み たね さぎょう  
粃(稲の実【種】)のこ)をとる作業をいいます。

げんざい のうぎょう  
現在の農業では、コンバインという機械を使って稲刈りと脱穀を同時に行いますが、すくすく農園で  
むかし せんぱ あし だっこくき つか だっこく て さぎょう  
は、昔ながらの千歯こき・足ふみ脱穀機を使い脱穀しました。手作業になるので、きれいに脱穀すること  
ができず、どうしても稲に粃が残ってしまいます。なので竹や指を使って、粃を脱穀していきました。機械  
ですとあっという間で終わりますが、手作業だととても時間がかかりました。脱穀された粃の中には藁  
ま お て さぎょう じかん だっこく もみ なか わら  
ずがたくさん混ざっているので、風で藁を吹き飛ばしていきます。今回は唐箕という木でできた道具を使用  
しましたが、現在はコンバインで稲刈りと同時に脱穀ができ、作業軽減が可能となっています。昔の  
のうぎょう きんだい のうぎょう おお ちが さぎょう じかん ろうりよく とうみ どうぐ いま  
農業と近代の農業の大きな違いは、作業にかかる時間と労力です。この唐箕という道具は、今ではとて  
も貴重なものです。小学校の2階に展示されているので、皆さん見てみてくださいね！



せんぱ あし だっこくき  
千歯こき・足ふみ脱穀機



とうみ  
唐箕



ふるい  
ふるい



こきはし  
こきはし

うらめん つづ  
裏面に続きます